



東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和4年12月12日

NO. 35

校長 白水 聡

ゲームやスマホ

12月の授業参観で、2年生はメディア講演会を行いました。講師は長崎県メディア安全指導員の久野妃呂美先生でした。子供たちに伝わるように、とてもわかりやすく話してくださいました。いただいた資料の中に、大切なことがたくさん書かれていましたので、一部ご紹介します。



みなさんにとって5つの大切なこと。

- ①ねること②食べること③体を使ってあそぶこと④学ぶこと
- ⑤自分をたいせつにすること

子供の成長にとって欠かせない、あたりまえのことです。しかし、これらのことをバランスよく実現することが、なかなか難しい社会になっている現状があります。

例えば、ゲームやスマホに夢中になって寝不足になったり、視力が落ちてしまったり、体を動かして遊ぶことが減ったり…。

特に、ネット依存とゲーム障害という問題から子供たちを守っていかねばならないと感じます。ゲームについてのチェックリストがありましたので、振り返ってみてください。

<ゲーム障害チェックリスト>

- ☐ ゲームの使用を自分でコントロールできない。(回数、時間、期間、環境)
- ☐ やらなければならないことよりもゲームを優先する。
- ☐ 生活の中で支障があってもゲームをやり続ける。
- ☐ ゲームによって心身の健康、家庭、学校生活、仕事などに問題が起きている。

4つのことが長期に続く場合はゲーム障害が疑われるそうです。これを予防するためにはゲームの時間と場所を決めてそれを守ったり、ゲーム以外で楽しいことを見つけたりすることが大切だと思います。また、依存度が深刻であれば、専門機関に相談することも必要です。

子供たちの健全な育ちのためには、大人のかかわりは不可欠だと思いますので、お子さんの生活リズムの正常化に向けて、ご家庭でのご指導、見守りをよろしくお願い申し上げます。これからも、子供たちがメディアと上手に付き合っていけるように、ともに考えてまいりましょう。

【※裏面にも資料を掲載しています】

第2回 学校運営協議会

12月9日、本年度2回目となる学校運営協議会が開かれました。森 保憲会長、校長あいさつのあと、環境営繕部、生活安全部、学習支援部の三つの部会に分かれて、これまでの振り返りと今後の取組について話し合いました。その結果、ビオトープの整備、登下校時の危険箇所の改善、メディアを含めた生活実態調査、家庭科などへの学習支援、見守り隊のメンバーの新旧交代の確認など、今後取り組んでいきたい内容が報告されました。

子供たちの安全安心な生活を守るために、学校・家庭・地域が力を合わせるための核となる会議でした。

